

第 10 回「金持ち企業ランキング」調査

2021 年8月

あなたの会社の **e-審査部**
リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

■ 調査の概要

1. 調査名称

第 10 回「金持ち企業ランキング」調査

2. 調査方法

決算書の分析結果に基づく調査

3. 調査対象決算期

2021 年6月2日時点で開示されていた 2020 年4月期決算以降の最新決算

4. 調査対象企業

金融機関(銀行、証券会社、保険会社等)、決算短信提出企業

5. 調査対象企業数

3,286 社

1. 調査結果

[1] 「金持ち企業ランキング」/ランキング結果

決算書の記載に基づき算出した NetCash(※)を比較した「金持ち企業ランキング」の1位は「任天堂」(NetCash1兆 1,852 億円)であった。次いで「信越化学工業」が2位(同 8,391 億円)、「ファーストリテイリング」が3位(同 6,235 億円)となり、以下「SMC」(同 6,185 億円)、「SUBARU」(同 5,734 億円)、「三菱電機」(同 5,185 億円)、「セコム」(同 4,507 億円)と続いた。

上位 20 社の業種としては、電気機械器具製造業が4社(三菱電機、パナソニック、小糸製作所、村田製作所)ランクインしたほか、輸送用機械器具製造業が3社(SUBARU、シマノ、スズキ)、その他の製造業が7社(任天堂、SMC、ファナック、キーエンス、日東電工、京セラ、塩野義製薬)と、上位 20 社のうち製造業が 14 社ランクインし、製造業の Cash 保有度合いの高さが目立つ結果となった。

前回順位との比較においては、「スズキ」(前回 47 位→19 位)と「村田製作所」(前回ランク外→20 位)が大幅にランクアップし、上位進出となった。両社は、好調な業績を背景に営業キャッシュフローを確保することで現預金を蓄積し、NetCash を増加させた。

一方、コロナ禍で大きな影響を受けた「オリエンタルランド」(前回 20 位)は 598 位、「日本航空」(前回 29 位)は 2,965 位と大きく順位を下げる結果となった。(図表A)

今回より日本会計基準の企業に加え、新たに国際財務報告基準の企業を集計対象に追加したため、ランキングに変動が見られた。

なお、トップ 100 については、図表Bにまとめた。

※日本会計基準：

$$\text{NetCash} = \text{現預金} - (\text{短期借入金} + \text{長期借入金} + \text{社債} + \text{一年以内返済の長期借入金} + \text{一年以内償還の社債} + \text{割引手形})$$

国際財務報告基準：

$$\text{NetCash} = \textcircled{1} \text{現預金} - \text{有利子負債} \text{ または、} \\ \textcircled{2} \text{現預金} - (\text{借入金} + \text{社債} + \text{割引手形}) \text{ または、} \\ \textcircled{3} \text{現預金} - (\text{短期借入金} + \text{長期借入金} + \text{社債} + \text{一年以内返済の長期借入金} + \text{一年以内償還の社債} + \text{割引手形})$$

のいずれかで算出した。

[2] 「金持ち企業ランキング」/ランキング上位企業分析

金持ち企業ランキング上位 20 社の「現預金」、「有利子負債」、「営業キャッシュフロー」について分析を行ったところ、現預金では、「セブン&アイ・ホールディングス」、「パナソニック」、「任天堂」、「ファーストリテイリング」、「スズキ」が上位となり、有利子負債では、「任天堂」、「ファナック」、「キーエンス」、「シマノ」の4社が0円となった。営業キャッシュフローでは、「任天堂」、「三菱電機」、「セブン&アイ・ホールディングス」が上位となった。

「セブン&アイ・ホールディングス」や「パナソニック」は、多額の負債を上回る現預金を有していることが、ランキング上位の要因であることが分かる。「任天堂」においては、現預金が多く有利子負債が少ないことが金持ち企業ランキングトップの要因であり、有利子負債による財務レバレッジを効かせずに、高いCash創出力を有していることが分かる。(図表C)

[3]「金持ち企業ランキング」／現預金ランキング

現預金残高のみでの集計を行ったところ、ランキング1位は「トヨタ自動車」となり、「ソフトバンクグループ」が2位、「楽天グループ」が3位、以下「本田技研工業」、「セブン&アイ・ホールディングス」と続いた。

金持ち企業ランキング上位企業と、現預金ランキングの上位企業について比較したところ、両方にランクインしているのは、「セブン&アイ・ホールディングス」、「パナソニック」、「任天堂」、「ファーストリテイリング」の4社のみとなった。(図表D)

[4]「金持ち企業ランキング」／有利子負債ランキング

有利子負債の多寡についてランキング集計を行ったところ、1位は「トヨタ自動車」となり、「ソフトバンクグループ」が2位、「本田技研工業」が3位、以下「日本電信電話」、「日産自動車」と続いた。

金持ち企業ランキング上位企業と、有利子負債ランキングの上位企業を比較したところ、両方にランクインしている企業はないことから、金持ち企業にランクインするための要素として有利子負債が少ないことが挙げられよう。(図表E)

[5]「金持ち企業ランキング」／営業キャッシュフローランキング

営業キャッシュフローの創出に対してランキング集計を行ったところ、1位は「日本電信電話」となり、「トヨタ自動車」が2位、「KDDI」が3位、以下「ソニーグループ」、「ソフトバンク」と続いた。

金持ち企業ランキング上位企業と、営業キャッシュフローランキングを比較したところ、両方にランクインしているのは、「任天堂」、「三菱電機」、「セブン&アイ・ホールディングス」の3社となった。

一方、有利子負債ランキング上位20社中12社は営業キャッシュフローランキング上位にランクインしている。借入により多額の資金を調達し、事業へ投資することで多額の収益を創出している企業が多いことが考えられる。(図表F)

[6]「金持ち企業ランキング」／配当性向との比較

金持ち企業ランキング上位20社にランクインしている企業について、配当性向を調査したところ、1位は「ファナック」(配当性向80.1%)、次いで「任天堂」(同65.6%)、「京セラ」(同56.2%)と続いた。

前年度との比較では、20社中17社(85.0%)の配当性向が上昇しており、特にファーストリテイリング(前年度30.1%→今年度54.2%)、シマノ(同27.7%→同51.8%)の上昇が目立った。一方、「日東電工」(同66.4%→同42.3%)は、前年度から20ポイント以上減少する結果となった。

上場企業の配当性向の平均が30%~40%と言われる中、本ランキングにおいては上位20社中10社が40%超となった。(図表G)

2. 総評

今回より、日本会計基準の企業に加えてIFRS(国際財務報告基準)採用企業を集計対象に追加したことで、新たにランクインした企業が見られる中、第10回金持ち企業ランキングは、第8回に続いて「任天堂」が1位となった。※第9回は2020年4月以降の中間決算で集計。

金持ち企業は、現預金から有利子負債を差し引いた NetCash を比較対象としているため、現預金が多いか有利子負債が少ないことがランクインの条件となる。

今回の金持ち企業ランキングトップの「任天堂」は、現預金保有量ではランキング12位に位置するほど多くの Cash を保有しつつ、有利子負債が0円であることがランキングトップの要因となった。さらに有利子負債がなく財務レバレッジが効いていない中で、営業キャッシュフローは16位にランクインしており、借入金増加による倒産リスクを抑えながら多額のキャッシュを獲得していることから、効率的な経営を行っているといえよう。

一方で、「トヨタ自動車」は、現預金ランキングと有利子負債ランキングでともにトップであり、営業キャッシュフローランキングでは2位となっている。借入金により財務レバレッジを効かせることで、多額の営業キャッシュフロー獲得に繋げており、こちらも効果的な資金運用が行えている企業といえる。

経営の安定化のために、Cash の保有に余裕を持たせつつ、効率的な経営を行うのか、有利子負債などを活用し財務レバレッジを効かせながら、最大限の利益獲得を図ろうとするのか、どちらか一方が正解ということはない。

ただ、現下のコロナ禍のような想定できない事態に直面した際、倒産を回避するために必要なものは Cash であり、前回調査時に多額の NetCash を保有していた「オリエンタルランド」や「日本航空」が、急激な事業環境の悪化においても事業を維持できているのは、十分な Cash を有していたことが大きな要因であるのは違いない。

昨今、コロナ禍の影響によって倒産動向に対する世間の関心が高まる中、今後は Cash の重要性が再認識される可能性が高いただろう。本ランキング上位企業は、日本の中でも安定性の高い企業であり、配当性向も上場企業平均を上回る優良企業ばかりである。コロナ禍によって傷付いた日本経済において、これらの企業が中心となり、経済回復の牽引役となっていくことを期待したい。

図表A 第10回「金持ち企業ランキング」/ランキングベスト20

順位	前回順位	企業名	都道府県	業種	Net Cash
1	1	任天堂	京都府	娯楽用品・玩具製造業	1兆1,852億円
2	2	信越化学工業	東京都	化学工業	8,391億円
3	初	ファーストリテイリング	東京都	織物・衣服・身の回り品小売業	6,235億円
4	3	SMC	東京都	はん用機械器具製造業	6,185億円
5	初	SUBARU	東京都	自動車製造業	5,734億円
6	初	三菱電機	東京都	電気機械器具製造業	5,185億円
7	7	セコム	東京都	セキュリティサービス業	4,507億円
8	5	ファナック	山梨県	生産用機械器具製造業	4,298億円
9	6	セブン&アイ・ホールディングス	東京都	各種商品小売業	4,279億円
10	初	パナソニック	大阪府	電気機械器具製造業	4,037億円
11	4	キーエンス	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	4,012億円
12	初	リクルートホールディングス	東京都	職業紹介・労働者派遣業	3,883億円
13	9	シマノ	大阪府	自動車製造業	3,056億円
14	初	日東電工	大阪府	電子部品・デバイス・電子回路製造業	3,003億円
15	初	京セラ	京都府	窯業・土石製品製造業	2,888億円
16	11	小糸製作所	東京都	電気機械器具製造業	2,829億円
17	8	大成建設	東京都	総合工事業	2,754億円
18	12	塩野義製薬	大阪府	医薬品製造業	2,648億円
19	47	スズキ	静岡県	自動車製造業	2,623億円
20	ランク外	村田製作所	京都府	電気機械器具製造業	2,533億円

※前回順位が”初”の企業はIFRS決算企業、“ランク外”は100位以下の企業

図表 B 第 10 回「金持ち企業ランキング」／ランキングベスト 100

順位	企業名	Net Cash	順位	企業名	Net Cash
1	任天堂	1兆1,852億円	50	大日本印刷	1,422億円
2	信越化学工業	8,391億円	52	ミクシィ	1,409億円
3	ファーストリテイリング	6,235億円	53	エービーシー・マート	1,374億円
4	SMC	6,185億円	53	ブラザー工業	1,335億円
5	SUBARU	5,734億円	55	ローソン	1,303億円
6	三菱電機	5,185億円	56	スタンレー電気	1,280億円
7	セコム	4,507億円	57	アドバンテスト	1,277億円
8	ファナック	4,298億円	57	コナミホールディングス	1,273億円
9	セブン&アイ・ホールディングス	4,279億円	58	東洋水産	1,172億円
10	パナソニック	4,037億円	60	東建コーポレーション	1,163億円
11	キーエンス	4,012億円	61	久光製薬	1,128億円
12	リクルートホールディングス	3,883億円	62	ベネッセホールディングス	1,125億円
13	シマノ	3,056億円	62	リコー	1,124億円
14	日東電工	3,003億円	64	島津製作所	1,110億円
15	京セラ	2,888億円	65	ディスコ	1,098億円
16	小糸製作所	2,829億円	66	マプテモーター	1,096億円
17	大成建設	2,754億円	67	いすゞ自動車	1,086億円
18	塩野義製薬	2,648億円	68	ニトリホールディングス	1,079億円
19	スズキ	2,623億円	69	安藤・間	1,040億円
20	村田製作所	2,533億円	70	セガサミーホールディングス	1,030億円
21	オムロン	2,508億円	71	日立物流	1,027億円
22	大正製薬ホールディングス	2,502億円	72	大東建託	1,022億円
23	ネクソン	2,388億円	73	ガンホー・オンライン・エンターテイメント	1,021億円
24	花王	2,255億円	74	大和工業	1,016億円
25	メディパルホールディングス	2,224億円	75	サイバーエージェント	1,013億円
26	ローム	2,206億円	76	エスケー化研	1,004億円
27	ニコン	2,177億円	77	江崎グリコ	973億円
28	ホシザキ	2,172億円	78	コーセー	958億円
29	中外製薬	2,123億円	79	ヤクルト本社	897億円
30	ヤマトホールディングス	2,075億円	80	エムスリー	891億円
31	大塚ホールディングス	2,036億円	81	三共	889億円
32	日揮ホールディングス	2,009億円	81	TBSホールディングス	885億円
33	凸版印刷	1,897億円	83	グリー	870億円
34	東京エレクトロン	1,865億円	84	スギホールディングス	868億円
35	リンナイ	1,864億円	85	サンドラッグ	865億円
36	バンダイナムコホールディングス	1,841億円	85	三谷商事	837億円
37	大塚商会	1,716億円	87	メルカリ	833億円
38	アルフレッサホールディングス	1,696億円	87	加藤産業	830億円
39	ユニ・チャーム	1,695億円	89	日本テレビホールディングス	827億円
40	富士通	1,655億円	90	ヤマハ	818億円
41	エーザイ	1,643億円	91	小林製薬	782億円
42	トレンドマイクロ	1,557億円	92	ディー・エヌ・エー	773億円
43	第一三共	1,537億円	93	ハウス食品グループ本社	752億円
44	テイ・エステック	1,530億円	94	丸一鋼管	749億円
45	スズケン	1,511億円	95	因幡電機産業	747億円
46	オービック	1,507億円	96	ミスミグループ本社	724億円
47	飯田グループホールディングス	1,494億円	97	東洋エンジニアリング	706億円
48	NIPPO	1,476億円	98	ダイキン工業	703億円
49	スクウェア・エニックス・ホールディングス	1,462億円	99	日油	690億円
50	マキタ	1,460億円	99	シスメックス	665億円

図表 C 第 10 回「金持ち企業ランキング」/ランキング上位企業分析

順位	企業名	現預金	有利子負債	営業キャッシュフロー
1	任天堂	1兆1,852億円	0億円	6,121億円
2	信越化学工業	8,669億円	278億円	4,011億円
3	ファーストリテイリング	1兆0,935億円	4,700億円	2,649億円
4	SMC	6,293億円	108億円	1,204億円
5	SUBARU	8,590億円	2,855億円	2,894億円
6	三菱電機	7,674億円	2,489億円	5,421億円
7	セコム	4,992億円	486億円	1,819億円
8	ファナック	4,298億円	0億円	1,179億円
9	セブン&アイ・ホールディングス	2兆1,892億円	1兆7,612億円	5,399億円
10	パナソニック	1兆5,932億円	1兆1,895億円	5,040億円
11	キーエンス	4,012億円	0億円	1,926億円
12	リクルートホールディングス	5,010億円	1,128億円	2,866億円
13	シマノ	3,056億円	0億円	910億円
14	日東電工	3,050億円	46億円	1,163億円
15	京セラ	4,196億円	1,308億円	2,208億円
16	小糸製作所	3,039億円	209億円	749億円
17	大成建設	4,943億円	2,189億円	674億円
18	塩野義製薬	2,762億円	113億円	1,090億円
19	スズキ	1兆0,246億円	7,623億円	4,154億円
20	村田製作所	3,640億円	1,107億円	3,735億円

※背景色ありは、「現預金」が多い上位5社、「有利子負債」が少ない上位5社、「営業キャッシュフロー」が多い上位5社

図表 D 第 10 回「金持ち企業ランキング」/現預金ランキング

順位	企業名	業種	現預金
1	トヨタ自動車	自動車製造業	5兆1,009億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	4兆6,627億円
3	楽天グループ	インターネット不随サービス業	3兆0,213億円
4	本田技研工業	自動車製造業	2兆7,580億円
5	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	2兆1,892億円
6	日産自動車	自動車製造業	1兆8,718億円
7	ソニーグループ	技術サービス業	1兆7,870億円
8	パナソニック	電機機械器具製造業	1兆5,932億円
9	ソフトバンク	通信業	1兆5,849億円
10	三菱商事	各種製品卸売業	1兆3,178億円
11	イオン	各種商品小売業	1兆2,876億円
12	任天堂	娯楽用品・玩具製造業	1兆1,852億円
13	ファーストリテイリング	織物・衣服・身の回り品小売業	1兆0,935億円
14	オリックス	物品賃貸業	1兆0,796億円
15	Zホールディングス	インターネット附随サービス業	1兆0,657億円
16	三井物産	各種商品卸売業	1兆0,632億円
17	スズキ	自動車製造業	1兆0,246億円
18	日立製作所	電機機械器具製造業	1兆0,159億円
19	武田薬品工業	化学工業	9,662億円
20	日本電信電話	通信業	9,357億円

背景色ありは図表Cのランキング上位企業

図表 E 第 10 回「金持ち企業ランキング」／有利子負債ランキング

順位	企業名	業種	有利子負債
1	トヨタ自動車	自動車製造業	25兆6,596億円
2	ソフトバンクグループ	通信業	18兆5,130億円
3	本田技研工業	自動車製造業	7兆7,210億円
4	日本電信電話	通信業	7兆6,243億円
5	日産自動車	自動車製造業	7兆4,802億円
6	オリックス	物品賃貸業	7兆0,419億円
7	ソフトバンク	通信業	5兆6,926億円
8	三菱商事	各種製品卸売業	5兆6,443億円
9	武田薬品工業	化学鋼業	4兆6,354億円
10	三菱HCキャピタル	物品賃貸業	4兆5,287億円
11	東京電力ホールディングス	電気小売業	4兆4,958億円
12	三井物産	各種商品卸売業	4兆4,930億円
13	東京センチュリー	物品賃貸業	4兆2,193億円
14	関西電力	電気小売業	3兆8,916億円
15	東日本旅客鉄道	鉄道業	3兆6,125億円
16	楽天	インターネット不随サービス業	3兆5,234億円
17	住友不動産	不動産賃貸業	3兆2,483億円
18	伊藤忠商事	各種製品卸売業	3兆1,553億円
19	九州電力	電気小売業	3兆1,081億円
20	住友商事	不動産賃貸業	3兆0,808億円

図表F 第10回「金持ち企業ランキング」／営業キャッシュフローランキング

順位	企業名	業種	営業キャッシュフロー
1	日本電信電話	通信業	3兆0,090億円
2	トヨタ自動車	自動車製造業	2兆7,271億円
3	KDDI	通信業	1兆6,821億円
4	ソニーグループ	技術サービス業	1兆3,501億円
5	ソフトバンク	通信業	1兆3,389億円
6	日産自動車	自動車製造業	1兆3,227億円
7	オリックス	物品賃貸業	1兆0,956億円
8	本田技研工業	自動車製造業	1兆0,723億円
9	楽天	インターネット附随サービス業	1兆0,413億円
10	三菱商事	各種商品卸売業	1兆0,175億円
11	武田薬品工業	化学工業	1兆0,109億円
12	伊藤忠商事	各種商品卸売業	8,959億円
13	日立製作所	電気機械器具製造業	7,931億円
14	三井物産	各種商品卸売業	7,726億円
15	ENEOSホールディングス	石油卸売業	6,790億円
16	任天堂	娯楽用品・玩具製造業	6,121億円
17	ソフトバンクグループ	通信業	5,572億円
18	三菱電機	電気機械器具製造業	5,421億円
19	セブン&アイ・ホールディングス	各種商品小売業	5,399億円
20	ブリヂストン	ゴム製品製造業	5,269億円

背景色ありは図表Eのランキング上位企業

図表G 第10回「金持ち企業ランキング」／ランキング上位 配当性向

順位	企業名	配当性向	前期の配当性向	配当性向の増減
1	任天堂	65.6%	61.6%	4.0pt
2	信越化学工業	35.4%	29.1%	6.3pt
3	ファーストリテイリング	54.2%	30.1%	24.1pt
4	SMC	27.3%	24.1%	3.2pt
5	SUBARU	56.1%	50.3%	5.8pt
6	三菱電機	40.0%	38.7%	1.3pt
7	セコム	49.7%	41.7%	5.5pt
8	ファナック	80.1%	78.6%	1.5pt
9	セブン&アイ・ホールディングス	48.5%	39.9%	8.6pt
10	パナソニック	28.3%	31.0%	▲2.7pt
11	キーエンス	24.6%	18.4%	6.7pt
12	リクルートホールディングス	25.1%	27.7%	▲2.6pt
13	シマノ	51.8%	27.7%	24.1pt
14	日東電工	42.3%	66.4%	▲24.1pt
15	京セラ	56.2%	53.8%	2.4pt
16	小糸製作所	21.4%	19.9%	1.5pt
17	大成建設	29.4%	22.7%	6.7pt
18	塩野義製薬	29.6%	26.0%	3.6pt
19	スズキ	29.8%	29.7%	0.1pt
20	村田製作所	33.9%	31.0%	2.9pt

背景色ありは、配当性向40.0%以上の企業